

教育委員会 4 月定例会 会議録

- 1 開催日時 令和5年 4月 5日(水) 午後3時から午後4時10分まで
- 2 場 所 教育委員会室
- 3 出席委員 教 育 長 丸 山 陽 一
同職務代理者 近 藤 守
委 員 塚 田 まゆり
委 員 茅 野 理 恵
委 員 鷲 澤 幸 一
- 4 説明のために会議に出席した者
教 育 次 長 藤 澤 勝 彦
教 育 次 長 勝 野 学
教育次長副任兼
学校教育課長 前 島 卓
教育次長副任兼
家庭・地域学びの課長 野 池 達 朗
総 務 課 長 北 島 克 彦
保健給食課長 山 口 恭 司
文化財課長 石 坂 陽 子
学校支援官 酒 井 好 和
総務課長補佐 穂 川 さゆり
- 5 書 記 総 務 課 児 島 真 季
庶務担当係長

丸山教育長が開会を宣した。

<教育長あいさつ>

新年度に入り、3日には、市内小・中学校に赴任された29名の校長先生方に辞令をお渡しした。本年度は、転任が17名、新任6名、再任用5名、兼務1名となっており、全体の3割強の校長先生が代わられた。私からは第三次長野市教育振興基本計画に基づき、「協働」をキーワードにした取組を推進していること、第三期しなのきプランが最終年度を迎えるということで、具体評価を次期プランにつなげていくこと、不登校児童・生徒のための新たな居場所づくりSaSaLANDのこと、またナガノスーパーサイエンスプロジェクトの立ち上げ等、新しい学習環境を整える仕組みづくり、子どもたちの自学自習の資質能力の伸長に向けた取組の推進、GIGAスクールの一人一台端末の活用の推進、新型コロナウイルス感染症が5類移行となるが、引き続き基本的な対策を講じていただきたい、ということをお願いしたところである。

小・中学校の入学式については、明日6日がピークとなる。本年度の新入生は、小・中学校合わせて5,687名となるが、3月の卒業生が6,171名であり、単純に差し引くと、484名の在校生が減少したということになる。昨年度も同規模の減少となっており、確実に少子化の波が押し寄せてきていることから、活力ある学校づくりの取組もスピード感をもって行う必要があると考えている。いずれにしても、今年度も未来をけん引する人材である子どもたちの育成を目指し、新しい時代を見据えた学びの充実、発展に取り組んでまいりたいと考えているので、引き続き、委員の皆様様の御理解、御支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

- ・人事異動に伴う事務局新体制の自己紹介

<協議事項>

協議1号「長野市教育支援委員会委員の委嘱について」

丸山教育長が事務局に説明を求めた。

前島教育次長副任兼学校教育課長が説明した。

丸山教育長が諮ったところ、原案のとおり承認された。

協議2号「長野市いじめ問題対策連絡協議会委員の委嘱について」

丸山教育長が事務局に説明を求めた。

前島教育次長副任兼学校教育課長が説明した。

- ・関係機関の情報共有が主な目的である。

丸山教育長が諮ったところ、原案のとおり承認された。

<一般行政報告>

報告1号「市議会3月定例会で論議された主な政策課題等について」

報告2号「令和5年度教育費予算について」

報告3号「令和4年度教育費補正予算について」

これら3つについて関連のある事柄であるため、丸山教育長が合わせて事務局に説明を求めた。

藤澤教育次長が説明した。

報告1号「市議会3月定例会で論議された主な政策課題等について」

主なものを中心に説明した。

- ・大豆島小学校の教育環境整備について
- ・新たな教育支援センターについて
- ・長野市版 新しい水泳学習について
- ・不登校、いじめについて
- ・不登校児童・生徒への支援について
- ・発達に個性や特性のある子どもたちへの支援の充実について
- ・発達障害や不登校児童・生徒へのサポートと将来の自立支援について
- ・支援を必要とする子どもへの対応について（現況と課題）
- ・LGBTQの人権保障について
- ・南部図書館耐震改修事業について
- ・青木島小学校エリアの教育環境の整備について
- ・部活動指導員について
- ・教職員のメンタルヘルスについて
- ・公民館利用申し込みについて
- ・文化財の保護と継承について など

報告 2 号「令和 5 年度教育費予算について」

報告 3 号「令和 4 年度教育費補正予算について」

歳出の内訳

- ・新型コロナウイルス感染症対策として、施設の除菌や換気対策の用品として、学校規模に応じ、小・中学校は90～180万円、高等学校は225万円を配当し、学校で支出するための経費
- ・物価高騰による、吉田公民館の光熱費

繰越明許費補正（追加）の内訳

- ・社会教育費について、新型コロナウイルス感染症の影響により、部品の流通が滞っていることから、令和 4 年度中に事業の完了が見込めないことによるもの

委員 長野市にSSW（スクールソーシャルワーカー）は何名居るのか。

前島教育次長副任兼学校教育課長

5名である。昨年度までは3名であったが、今年度から増員した。

委員 5名で市内小・中学校を回っているのか。

勝野教育次長

時間数で言うと、昨年度1,750時間、今年度は2,000時間。

前島教育次長副任兼学校教育課長

令和 3 年度から継続の 2 名が各500時間、今年度新規で 2 名が各400時間、1 名が200時間ということで予算を増やし対応していただく。

委員 この人数は足りている状態なのか。

勝野教育次長

年々、時間数に換算して増員してはいるが、多く居てくれるとありがたい。

委員 SSWの方たちは、その職業として自活できているのか。職業として成り立つのか。

委員 一般的には、全員が必ずしもできているとは限らない。学校にはSSWに加え、カウンセラーもおり、全国的にもなり手不足が問題となっているかと思う。まだ実態

がよく分かっていない部分もある。児童・生徒一人一人に十分に支援していくのが望ましいが、人員不足が懸念され、難しいところである。

勝野教育次長

今年度から特に、SSWほどの専門的な技量でなくとも、学校職員がSSWから学び、そういった力をつけていくということも大事にしていきたいと考えている。

委員 心理士においては、30年前にスクールカウンセラー制度が設置されてから、常勤化を目標にやってきており、名古屋市は常勤採用を行っている数少ない自治体である。長野県を見たときに、なぜ常勤化が進まないかを考えると、予算の問題だけでなく人材が足りない。その理由は人材育成不足の問題が大きい。心理士もSSWにおいても、養成機関が変わっていかないといけない部分があるのではないかと思う。

委員 全般的に、教育委員会の答弁は前向きなものが多いが、人材確保という問題が一番難しいと感じる。少子化が進む中で、市民の皆様の理解を十分に得ていかなければならない。

委員 教員が福祉と心理の知識を持つということは、負担が増えるという声もあるが、知識がないことにより闇雲に対応し疲弊したり、事態を悪化させてしまったりというケースを軽減させる可能性がある。そのため、こうした研修等を充実させていけると良いと感じている。

報告4号「長野市立学校設置条例の一部を改正する条例について」

丸山教育長が事務局に説明を求めた。

前島教育次長副任兼学校教育課長が説明した。

報告5号「(仮称)長野市豊野防災交流センター整備事業建築主体工事に係る工事請負契約の締結について」

丸山教育長が事務局に説明を求めた。

野池教育次長副任兼家庭・地域学びの課長が説明した。

- ・令和元年東日本台風災害で被災した豊野公民館について、市営住宅沖団地跡地に公民館機能と防災機能を備えた施設として整備するもの
- ・令和6年8月に開所予定。

委員 建設地については盛り土をしたのか。

野池教育次長副任兼家庭・地域学びの課長

1.2メートルの盛り土の上に建築する予定。東日本台風災害の際、豊野公民館周辺は1.7メートルほどの浸水だったということで、1.2メートルの盛り土と、0.8メートルの止水板を設置することで、浸水対策として2メートルを確保する。

委員 信州大学教育学部では、防災教育に力を入れるということで、新たに防災センターを立ち上げている。そうしたところうまく活用しながら連携していったらえればと思う。

委員 地元との検討委員会の中でも、防災教育や、地域住民の防災意識向上のための機能がある公民館として、運営していただくと良い。

委員 近隣の小・中学生は、防災教育のために、バス等を利用して来る等の想定はされているのか。

野池教育次長副任兼家庭・地域学びの課長

小・中学校からの要望や講座に合わせての利用が可能である。

- 委員 積極的に防災教育ができるよう、プログラムを作るなどして、有効に活用していてももらえると良い。
- 委員 まずは各校において、自分で自分の命を守る防災教育を行った上で、長野市全体として進めていていただけると良い。

報告 6 号「長野市老人福祉センターの設置及び管理に関する条例等の一部を改正する条例について」

丸山教育長が事務局に説明を求めた。

野池教育次長副任兼家庭・地域学びの課長が説明した。

報告 7 号「長野市旅館業法施行条例及び長野市立博物館条例の一部を改正する条例について」

丸山教育長が事務局に説明を求めた。

石坂文化財課長が説明した。

報告 8 号「令和 5 年度事務局・教育機関職員の人事異動について」

丸山教育長が事務局に説明を求めた。

藤澤教育次長が説明した。

- ・ 3 月教育委員会臨時会で非公開にて報告したものに修正箇所があったため、報告するもの

<その他>

○教育委員会の主催、共催及び後援事業について（北島総務課長）

主催事業 0 件、共催事業 0 件、後援事業 14 件（賞状交付 1 件）

○第四次長野市子ども読書活動推進計画について

野池教育次長副任兼家庭・地域学びの課長が 2 月定例会で質問があったことについて回答した。

- ・ 中核市 62 市中、市立図書館蔵書数は 25 番目、児童図書館の貸出数は 27 番目の位置付けとなっている。
- ・ 「学校図書館図書標準」達成学校数の割合は、文部科学省の令和 2 年度の調査では、小学校が 71.2%、中学校が 61.1% となっており、長野市の割合は非常に高い位置にあると考えられる。

○教育長の職務に専念する義務の免除について

北島総務課長が、教育長の職務に専念する義務の免除について承認を求めた。

北島総務課長が説明した。

- ・ 長野市教育長の職務に専念する義務の特例に関する条例第 2 条に基づき、教育長が職務に専念する義務を免除されるためには、あらかじめ教育委員会の承認を得る必要がある。
- ・ 同条第 1 号は、「厚生に関する計画の実施に参加する場合」で、人間ドックなどの健康診断が該当する。
- ・ 同条第 2 号は、「職務に関連ある国又は地方公共団体の公務員としての職を兼ね、その職に属する事務を行う場合」で、現在想定されるものはない。
- ・ 同条第 3 号は、「行政の運営上その地位を兼ねることが特に必要と認められる団体等の役職員の地位を兼ね、その地位に属する事務を行う場合」で、長野県市町村教育委員会連絡協議会及び長野県都市教育長協議会に関する事務が該当する。

- ・これらに関し、職務に専念する義務を免除することについて、協議願いたい。

丸山教育長が諮ったところ、承認された。

次回以降の日程確認（北島総務課長）

5月定例会	5月8日（月）午後3時	教育委員会室
6月定例会	6月7日（水）午後3時	教育委員会室

定例会前、管内視察を予定

丸山教育長が閉会を宣した。

令和 年 月 日

会議録署名委員

教育長

同職務代理者

教育委員

教育委員

教育委員